

研究情報公示用ポスター

「肺胞洗浄液および外科的肺生検由来の肺細胞、免疫細胞を用いた間質性肺炎および肺癌に関する前向き研究」へご協力いただく方への説明書

(1) 研究の概要について

研究題名：肺胞洗浄液および外科的肺生検由来の肺細胞、免疫細胞を用いた間質性肺炎および肺癌に関する前向き研究

間質性肺炎とは酸素や二酸化炭素といったガス交換を行う肺胞中隔に、様々な原因から炎症をおこし、壁が厚く硬くなり（線維化）、ガス交換ができにくくなる病気です。原因として関節リウマチや皮膚筋炎などの膠原病や、カビ・羽毛・粉塵などの吸入抗原、また薬剤・漢方薬などが知られていますが、原因を特定できないものを「特発性間質性肺炎」といい、間質性肺炎の中で最も頻度が高いと言われております。また、間質性肺炎には肺癌が合併しやすくなることが知られています。間質性肺炎がどうして発症するかは解明されておらず、肺胞が受けた障害がうまく修復されないことが大きく関わっていると推測されています。

そこで、今回我々は間質性肺炎における病態を明らかにするための研究を計画いたしました。

承認番号： G2018-022

研究期間： 研究実施許可日から 2027 年 3 月 31 日

研究責任者：肺免疫治療学講座 岡本 師

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 電話：03-5803-5954 (ダイヤル)

(2) 研究の意義・目的について

間質性肺炎の原因は未だ不明な点が多いです。血液、洗浄液、肺切除標本の細胞を用いて発症に関わる遺伝子を解析することで、間質性肺炎の発症機序をよりよく理解したいと考えております。原因の候補となる遺伝子を同定する段階で、健常な人との比較検討を行う場合があります。

間質性肺炎の発症機序を明らかにすることで、今後の治療や予防に役立てたいと考えております。

(3) 研究の方法について

疾患バイオリソースセンターの事業にご同意いただいた間質性肺炎の患者さんの血液検体を用います。血液検体から遺伝子を抽出し、遺伝子変異の有無を同定、解析を行います。本研究のために新たに採血を行うことはありません。

(4) 試料・情報の保管／廃棄と、他の研究への利用について

疾患バイオリソースセンターにて管理・保管されている試料（血液）を試料活用委員会の承認を得た上で使用させていただきます。頂いた試料は当研究室で厳重に保管し、また記号化して保存して個人情報は一切わからないように管理します。許可のない場合に上記以外の目的に利用することはありません。

(5) 予測される結果（利益・不利益）について

このような研究を続けていくにつれ、次第に上記疾患にかかりやすい体質が少しずつわかってくるものと考えられます。将来的に医学の発展に貢献し得ると考えておりますが、今回の結果で研究協力者の方々に直接利益をもたらすことは少ないと考えております。また、間質性肺炎以外の疾患が明らかになってしまう可能性もあります。しかし徐々に病態が解明されることでより適切な治療や予防が期待できると考えております。

(6) 研究協力の任意性と撤回の自由について

研究への参加は任意です。試料が研究に用いられることを拒否されても診療上の不利益が生じることは一切ございません。疾患バイオリソースセンターの事業にご同意いただいている場合でも、本研究での検体の使用を希望されない場合には、以下の問い合わせ先にご連絡をお願いいたします。

(7) 個人情報の保護・取り扱いについて

研究協力者の方々のプライバシーを守るために検体はすべて記号を用いて扱い、個人が決して特定されないよう十分配慮いたします。

(8) 研究成果について

研究の結果は国内外の学会や学術雑誌などに発表することがありますが、プライバシーは保護されます。年齢、性別、疾患に関連するデータを含めて結果の解析を行います。個人が特定されることは決してございません。

(9) 解析結果のお知らせについて

遺伝子解析で得られる結果については、現在の遺伝子解析技術の不確実さ、膨大な遺伝子解析検査結果の説明・解釈の難しさを考慮し、基本的に個別の結果の説明はおこないません。

(10) 費用について

この研究に参加することにより、あなたに費用負担はありません。また、試料の提供は無償でお願い致しておりますので、謝礼などはお渡ししていません。

(11) 研究資金および利益相反について

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(12) 問い合わせ等の連絡先：

連絡先：東京科学大学病院 肺免疫治療学講座 岡本 師

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

03-5803-5954 (ダイヤル) (対応可能時間帯：平日 10:00～17:00)

苦情窓口：東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。